

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

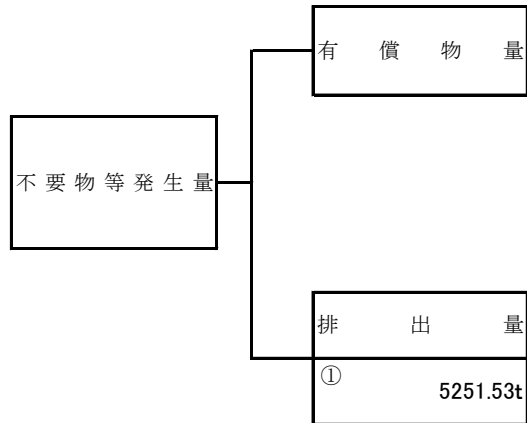
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 令和 6 年 5 月 28 日 宮崎県知事 殿 提出者 住 所 宮崎県日向市大字財光寺1193番地 氏 名 南日本ハム株式会社 代表取締役 直井 剛 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0982-54-4186 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	南日本ハム株式会社		
事業場の所在地	宮崎県日向市大字財光寺1193番地		
事業の種類	E 製造業 09 食良品製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	1年間 (令和5年4月1日から令和6年3月31日)		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,310.68 t	全処理委託量	4,310.68 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0.68 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4,101.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

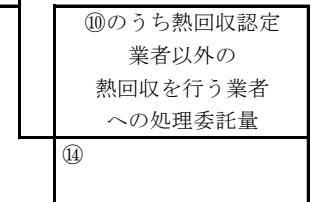
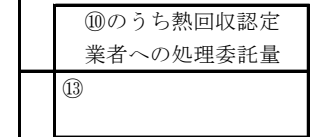
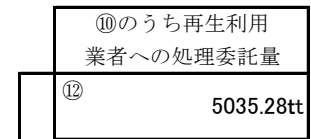
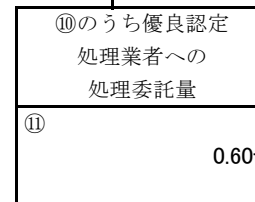
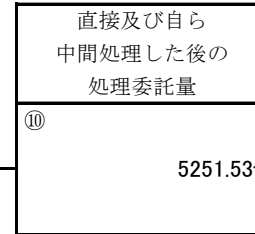
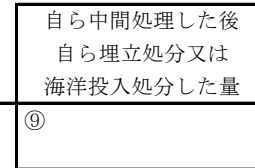
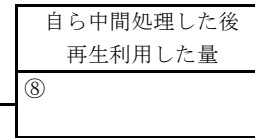
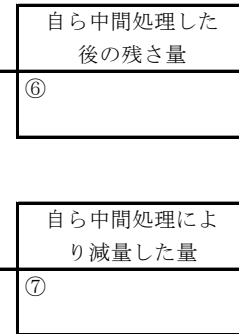
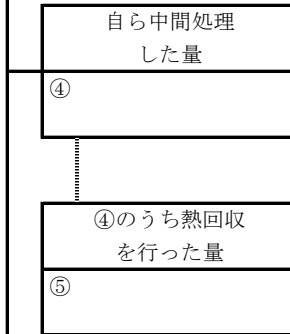
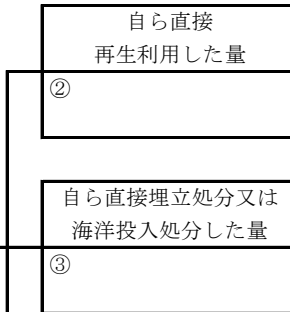
(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 別紙 1, 2 参照)



項目	実績値
①排出量	5251.53t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	5251.53t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.60t
⑫再生利用業者への処理委託量	5035.28t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	





南日本ハム株式会社 日向農産加工株式会社  
 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九(第八条の四の六関係))(2/2)

別紙 2.  
 単位:トン/年

		産業廃棄物 発生量の目標	⑨自ら中間処理 した後自ら埋立 処分又は海洋 投入処分した 量	⑩直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	⑪⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託 量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱回 収認定業者以 外の熱回収を 行う業者への 処理委託量
汚 泥	脱水汚泥	1,600.00		1,860.98		1,860.98		
	小計	1,600.00	0.00	1,860.98	0.00	1,860.98	0.00	0.00
動植物性残さ	排水残さ	500.00		501.99		501.99		
	廃棄製品類	154.00		176.99		174.99		
	煮骨	1,500.00		2,166.70		2,166.70		
	活性炭	320.00		312.80		312.80		
	小計	2,474.00	0.00	3,158.48	0.00	3,156.48	0.00	0.00
廃 油	鉱物油	3.00		2.70		2.70		
	試験検査用油	0.08		0.04	0.04			
	小計	3.08	0.00	2.74	0.04	2.70	0.00	0.00
廃 酸	試験検査用廃酸	0.60		0.56	0.56			
	小計	0.60	0.00	0.56	0.56	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	ビニール類	13.00		6.04		6.04		
	廃材類	205.00		213.65		0.00		
	小計	218.00	0.00	219.69	0.00	6.04	0.00	0.00
木 く ず	パレット類	2.00		1.26		1.26		
	スモークチップ	8.00		7.55		7.55		
	小計	10.00	0.00	8.81	0.00	8.81	0.00	0.00
廃アルカリ	豚血液	0.00		0.00		0.00		
	小計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラスくず	蛍光灯類	5.00		0.27		0.27		
	小計	5.00	0.00	0.27	0.00	0.27	0.00	0.00
合計		4,310.68	0.00	5,251.53	0.60	5,035.28	0.00	0.00

(第3面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。